

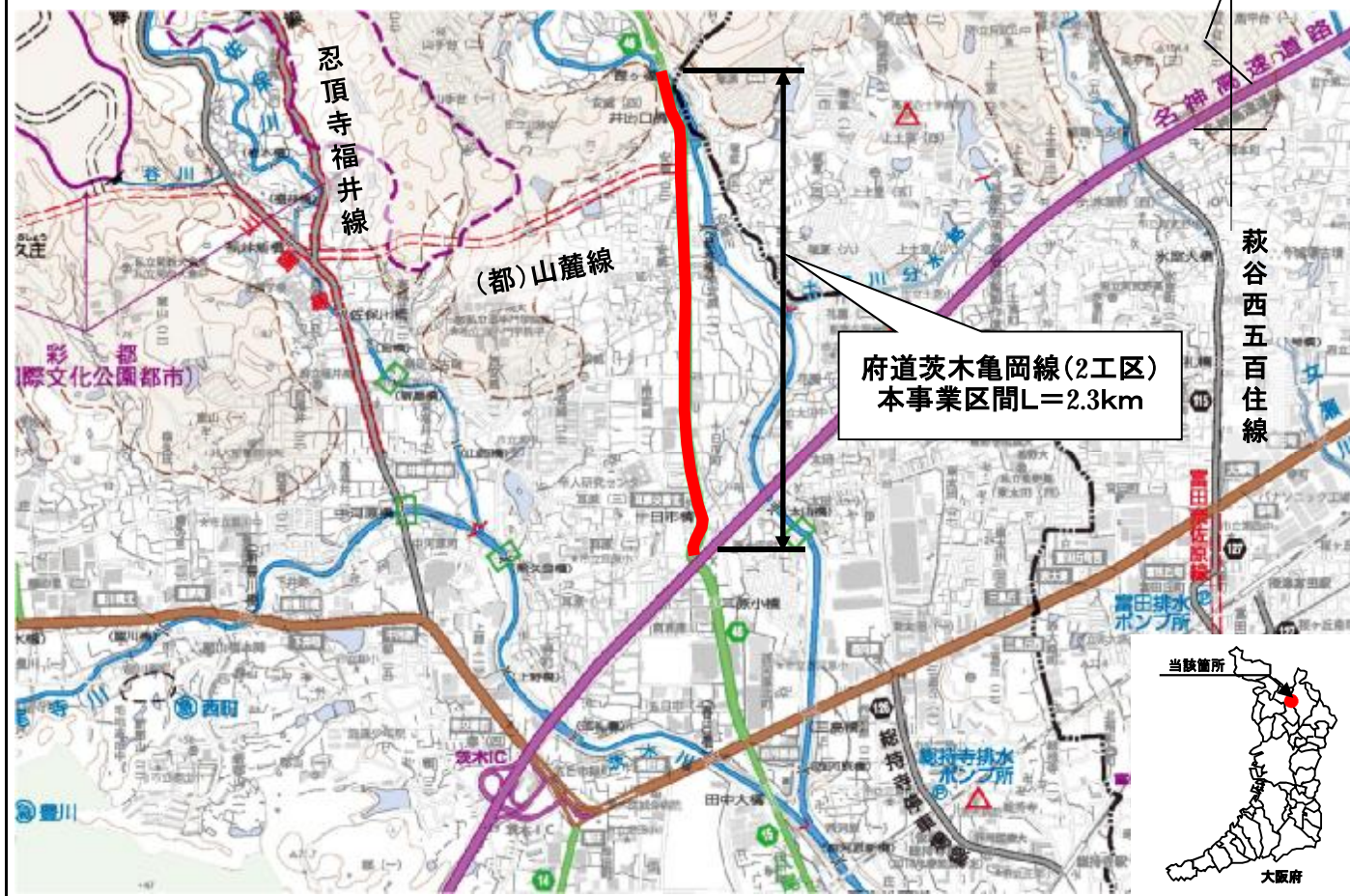
平成 27 年度 事後評価点検表（内部評価）

事業名	主要地方道茨木亀岡線（2工区） 道路改良事業																											
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路整備課 建設グループ （06-6944-9276）																											
事業箇所	茨木市南耳原二丁目～桑原																											
事業目的及び事業内容	<p>【事業目的】 本路線は、大阪府茨木市と京都府亀岡市を結ぶ主要な府県間道路であるが、歩道のない2車線道路であり、朝夕、渋滞が慢性化し、歩行者の安全性も確保されていない状況である。新名神高速道路へのアクセス及び、彩都（国際文化公園都市）へのアクセス機能をも補完する路線であり、交通混雑を緩和し、円滑な交通処理を図るべく現道拡幅整備を実施するものである。</p> <p>【事業内容】 延長： L=2.3km 幅員： W=22.0～27.0m</p> <p>車道： 4車線（3.25m×4） 歩道： 両側（3.0m×2）</p>																											
関連事業とその現状	<p>1. 彩都（国際文化公園都市） 東部地区（一部）が平成30年春まちびらき予定。</p> <p>2. 新名神高速道路 神戸 JCT～（仮称）高槻 IC の区間が平成28年度末に供用予定。</p>																											
社会経済情勢の変化	<p>【整備路線の状況】</p> <table border="1"> <tr> <td><府道茨木亀岡線></td> <td>整備前</td> <td>完成後</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(H11 センサス)</td> <td>(H22 センサス)</td> </tr> <tr> <td>交通量</td> <td>9,834 台/12h</td> <td>13,617 台/12h</td> </tr> </table> <p>【周辺道路の状況】</p> <table border="1"> <tr> <td><府道萩谷西五百住線></td> <td>整備前</td> <td>完成後</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(H11 センサス)</td> <td>(H22 センサス)</td> </tr> <tr> <td>交通量</td> <td>8,009 台/12h</td> <td>2,024 台/12h</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td><府道忍頂寺福井線></td> <td>整備前</td> <td>完成後</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(H11 センサス)</td> <td>(H22 センサス)</td> </tr> <tr> <td>交通量</td> <td>3,807 台/12h</td> <td>2,478 台/12h</td> </tr> </table>	<府道茨木亀岡線>	整備前	完成後		(H11 センサス)	(H22 センサス)	交通量	9,834 台/12h	13,617 台/12h	<府道萩谷西五百住線>	整備前	完成後		(H11 センサス)	(H22 センサス)	交通量	8,009 台/12h	2,024 台/12h	<府道忍頂寺福井線>	整備前	完成後		(H11 センサス)	(H22 センサス)	交通量	3,807 台/12h	2,478 台/12h
<府道茨木亀岡線>	整備前	完成後																										
	(H11 センサス)	(H22 センサス)																										
交通量	9,834 台/12h	13,617 台/12h																										
<府道萩谷西五百住線>	整備前	完成後																										
	(H11 センサス)	(H22 センサス)																										
交通量	8,009 台/12h	2,024 台/12h																										
<府道忍頂寺福井線>	整備前	完成後																										
	(H11 センサス)	(H22 センサス)																										
交通量	3,807 台/12h	2,478 台/12h																										
事業実施による自然環境の変化	道路の整備により周辺道路の交通量が減少し、渋滞緩和により旅行速度が向上し、CO2排出量が削減される。																											
最終評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	<p>【最終評価時の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、走行時間短縮効果などの便益が見込まれることを確認した。 新名神高速道路（（仮称）茨木北 IC）及び彩都（国際文化公園都市）（中部・東部地区）へのアクセス機能の向上が見込まれることを確認した。 地域の交通安全性の向上が見込まれることを確認した。 <p>【府の対応】 事業継続</p>																											

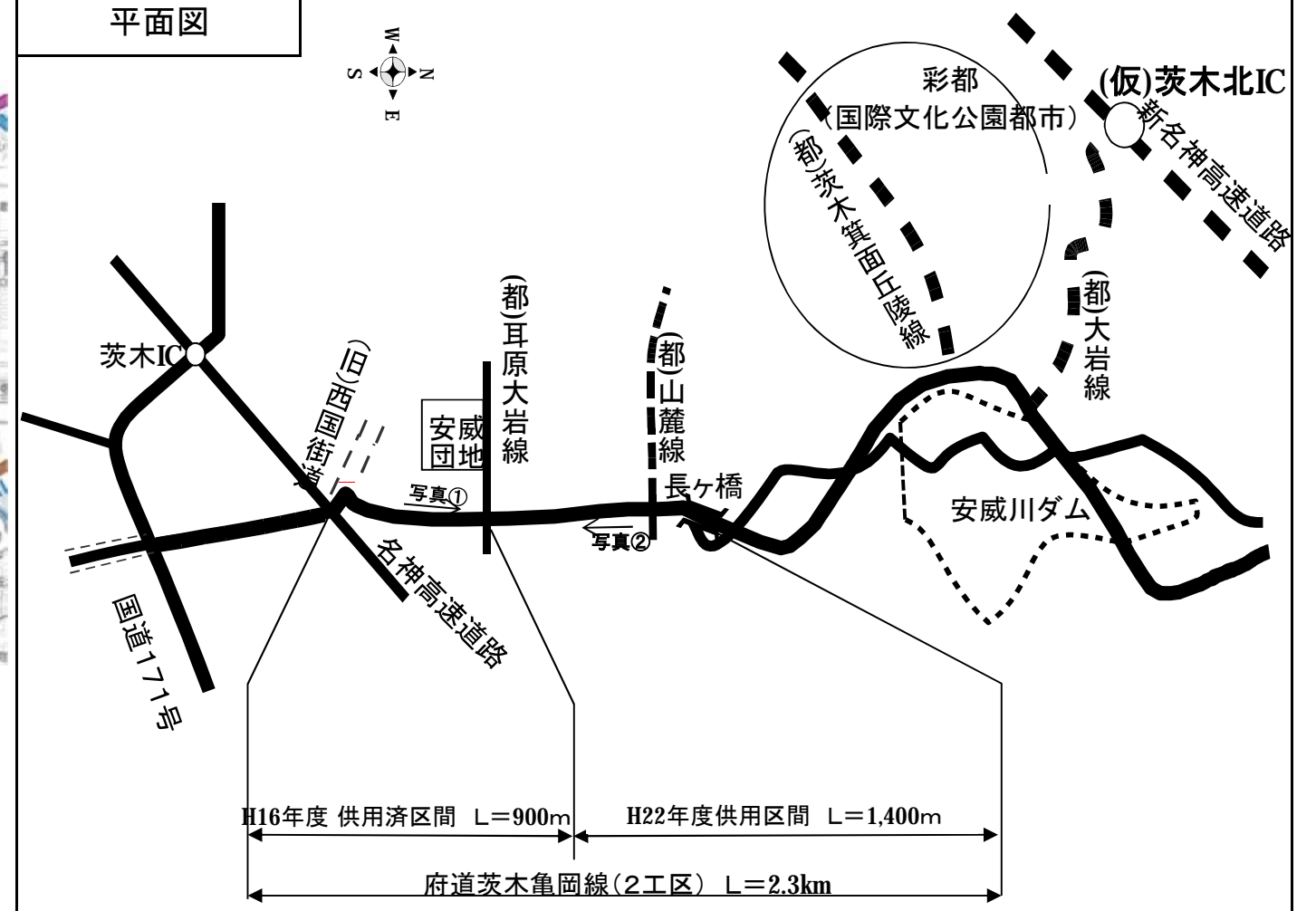
	【最終評価時点 H18】	【完了時点 H22】	【分析】
事業費	128 億円 (国：71 億円、府：57 億円)	128 億円 (国：71 億円、府：57 億円)	事業費に変化なし。
①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	①17 年 ②事業採択年度 H4 ③事業着手年度 H4 ④完成予定年度 H20	①19 年 ②事業採択年度 H4 ③事業着手年度 H4 ④完成年度 H22	用地買収難航により最終評価時より2年遅れで完成。
定量的効果 (費用便益分析等)	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行時間短縮便益 走行費用減少便益 交通事故減少便益 <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> B/C=6.31 B=約 1160.53 億円 C=約 183.53 億円 <p>【算出方法】 費用便益分析マニュアル (国土交通省平成15年8月)</p> <p>【受益者】 地域住民、開発区域住民、道路利用者</p>	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行時間短縮便益 走行費用減少便益 交通事故減少便益 <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> B/C=6.13 B=1123.49 億円 C=183.31 億円 <p>【算出方法】 費用便益分析マニュアル (国土交通省平成15年8月)</p> <p>【受益者】 地域住民、道路利用者</p>	概ね変化なし。
事業効果の定性的分析 (安心・安全、活力、快適性等の有効性)	<p>【効果項目】</p> <p>[安心・安全]</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生時の緊急輸送路、避難路の確保 <p>[活力]</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発区域の支援 地域間交流連携の強化、物流の効率化の支援 沿道地域への移動円滑化 <p>[快適性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺狭小道路の迂回交通量減少による快適性の向上 <p>【受益者】 地域住民、開発区域住民、道路利用者</p>	<p>【効果項目】</p> <p>[安心・安全]</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生時の緊急輸送路、避難路の確保 <p>[活力]</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発区域の支援 地域間交流連携の強化、物流の効率化の支援 沿道地域への移動円滑化 <p>[快適性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺狭小道路の迂回交通量減少による快適性の向上 <p>【受益者】 地域住民、道路利用者</p>	所期の目的を達している。
その他特記事項	なし		
評価結果 (事業効果の発現状況等)	本区間が平成22年度に供用することにより、周辺道路の府道忍頂寺福井線、府道萩谷西五百住線の交通量が減少し、交通混雑の緩和に寄与している。		
今後の同種事業に対する改善措置等	なし		

平成27年度 事後評価 主要地方道茨木亀岡線(2工区) 道路改良事業

事業箇所図



平面図



現況写真

写真①



写真②



標準断面図

